



## 「未来へつなぐ対話と共感」で 活力ある安心で快適な住みよいまちづくり 林市政 4期目スタート

### 令和5年第1回臨時会での所信表明(要約抜粋)

このたびの市長選挙において、前回と同様に無投票当選という栄誉をいただき、引き続き市政を担当させていただくことになりました。初心を忘れず、職責の重さを厳粛に受け止め、市民の皆様への負託にお応えするべく、市政発展のため全力を尽くす所存でございます。

4期目に当たり「未来へつなぐ対話と共感」をモットーに、議会をはじめ市民の皆様とともに、「ふるさと山県」を次代へ引き継いでいく「活力ある安心で快適な住みよいまちづくり」を目指してまいります。

振り返りますと市長就任後の12年間は、市役所内部の改革による経費の削減やトップセールスによる国からの補助金などの獲得、ふるさと納税による増収を推進してまいりました。その結果、ピーク時の平成21年度末には約368億円でありました地方債残高が、年々減少し、令和5年度末には市発足以来初めて200億円を切る見込みとなりました。

一方で、人口急減という大きな課題に直面しており、中長期的な視点での行政リノベーションを進めてまいりました。就任以来、時として痛みを伴う判断をすることもございましたが、「子どもたちの幸せ」「将来の市民」のことを考えたことであり、引き続き、良識のある判断の下で、「対話」を進め、その対話の中から生まれてくる「共感」を基にした行動により、自立的で持続的な社会の創生を推進する所存でございます。

さて、5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げられ、自粛ムードが強かった各種イベントなどが通常どおり行われることが期待されます。折しも、本市は、今年度市制20周年を迎えました。市民、企業、各種団体の皆様とともに「ハタチの山県市」記念事業を実施し、活気を取り戻し、コロナ禍からの再生と復興に取り組んでまいりたいと考えております。

また、本市のかけがえのない自然の恵みや地域に根ざした歴史・産業を見つめ直し、改めて「ふるさと山県」を愛し、誇りに思い、自然とともに元気に生きていくための「未来を考える」契機としていただきたいと思います。

コロナ禍を起因とする社会情勢の変化により新たな行政課題も生じております。4期目におきましては、五つの重点施策を掲げ、全力で市政運営を進める所存でございます。

山県市長 林 宏優

# 第4期林市政 五つの重要施策

## ① 包括的な子育て支援と

### 女性の活躍

市長就任時より、実現を目指しておりました小中学校の給食無償化については令和4年度の2学期から実施することができました。

令和5年度からは3歳未満児保育の無償化を開始するなど、子どもたちの健やかな成長と子育て世帯への支援を強力に進めます。

人口急減の抑制にも密接に関わる子育て支援は、最重要課題として取り組むこととし、安心して子どもを産み育てることができ、男女に関わらず活躍できる環境整備に努めます。



## ② 未来を見据えた

### 力強く豊かなまちづくり

市内企業の持続的な経営と事業の発展、市内の経済・産業の活性化を図り、加えて、企業誘致も推進します。

「定住人口」や「交流人口」、「関係人口」の増加を目指し、大桑城跡のPR事業も展開し、人との多様な出会いと交流により地域活性化を推進します。



## ③ 健康寿命の延伸と

### 高齢者の活躍

引き続き、健康増進啓発やフレイル予防を推進し、年齢の節目におけるがん検診や特定健診の無償化、市民それぞれが取り組む健康づくりを後押しする施策を実施します。

## ④ 新たな時代に向けた

### GX、DXの推進

GXに関しては、「カーボン・マイナス・シテイ宣言」のもと、経済と環境の好循環をつくっていく産業政策を推進します。

市民の皆様がDXの推進により、安全で利便性を実感できる環境を構築します。

## ⑤ ポストコロナの

### 経済社会に向けた成長戦略

コロナ禍により深刻な影響を受けた地域経済を回復させ、停滞した市民活動やスポーツ、文化活動などの再開を推進します。



議会をはじめ、市民、企業や各種団体の皆様との「未来へつなぐ対話と共感」により、これからの市政運営に全力を尽くしますので、格別のご支援、ご協力をお願い申し上げます。